



積雪寒冷条件下におけるドローン活用実証事業

背景・課題

- R4は規制緩和により、ドローンのさらなる普及が想定される。広域分散の北海道は、ドローンの適地。
- 一方、積雪寒冷の環境に対応したドローンは少なく、冬期は飛行が控えられているため、社会実装の遅れが懸念

➡ 課題の整理とデータの取得のため、道が主導で冬期のユースケースを想定した飛行実証を実施

事前に大型送風機を活用して個別の機体の動作を試験



【実証ユースケース】



物流
孤立集落への物資輸送



災害対応
遭難者の搜索



インフラ点検
ダム等の点検



観光
スキー場での撮影

- 実証結果をもとに、ドローンユーザー向けの「冬期飛行ガイドライン」を作成、公開
※飛行時の注意事項や運用上の工夫・対策などを整理
- 実証で得られたデータを持って、国やメーカーに働きかけ

➡ 物流や災害対応をはじめ、道内の通年でドローンの利活用を促進

